

## 令和6年第4回さくら市議会定例会一般質問順番

令和6年11月29日（金）午前10時～ 3人

質問順番	質問者名
1番	永井 孝叔 議員
2番	大河原千晶 議員
3番	角田 憲治 議員

令和6年12月 2日（月）午前10時～ 2人

質問順番	質問者名
1番	岡村 浩雅 議員
2番	加藤 誠一 議員

## 1. 上下水道施設の耐震化について

上下水道は、市民の生命や暮らしを支えるインフラであり、特に令和6年能登半島地震では、上下水道システムの「急所施設」（その施設が機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設）や避難施設などの重要施設に接続する水道・下水道の管路等について、耐震化の重要性が改めて明らかになったところである。

そこで、国ではこれらの耐震化状況について緊急点検を行い先般発表したと聞くが、本市の状況について市長に伺う。

また、国ではすべての水道事業者や下水道管理者に対し、今般の緊急点検結果を踏まえた「上下水道耐震化計画」の策定を要請しているが、本市では今後、どのように上下水道事業の耐震化を推進していくのか併せて伺う。

答弁を求める者 市長

## 2. 福祉の充実について

近年、地域における福祉にまつわる生活課題は、多様化、複雑化している。

市民からは、急激な物価高で生活が困窮している、高齢で孤独や不安を抱えている、子供がひきこもり・不登校になってしまったなど、様々な悩みごとに関して、どこに相談したらよいのか分からないとの声を多く聞く。

こうした中、下野市では昨年10月に「福祉まるごと相談窓口」を開設し、どこに相談したらよいのか分からない福祉に関する市民の困りごとを受け止め、様々な分野の相談員と緊密に連携しながら課題解決に向け取り組んでいると聞く。

そこで、本市においても福祉に関する一元的な相談窓口を設置し、市民の人権の擁護と社会福祉の一層の増進に努めるべきと考えるが市長の考えを伺う。

また、本市において重度心身障害者医療費助成事業については、「償還払い」により実施しているが、障害を抱えている方やその家族から「現物給付」の要望が出ている。このため、宇都宮市、鹿沼市、日光市、栃木市などでは重度心身障害者医療費助成を「現物給付」としている。

そこで、本市においても障害者やその家族の手続きの不便さを解消し、生活の安定と経済的負担の軽減を図るため、重度心身障害者医療費助成制度を「現物給付」方式に改めるべきと考えるが市長の考えを併せて伺う。

答弁を求める者 市長

### 3. 教育行政について

文部科学省は、児童生徒の問題行動や不登校などの実態を調査した「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果の概要」を2024年10月31日に公開した。

同調査によると、病気や経済的理由を除き、心理・社会的な要因などで小中学校に年30日以上登校しない不登校児童生徒数は、過去最多の34万6482人となり、前年度から47,434人(15.9%)増加。増加は11年連続となっており、初めて30万人を超えたとのことである。本市においても不登校は増加傾向にあり、小学校の出現率は、平成29年度の0.80に対し、令和5年度は1.43にまで上昇している。中学校においても平成29年度の出現率が4.28に対し、令和4年度は7.99、昨年度も6.42と高い率となっている。

そこで、「誰一人取り残さない教育」を実現するため、どのように不登校対策に取り組んでいくのか伺う。

また、現下の物価高騰を受け、学校給食費の保護者負担の軽減も大きな課題となっている。

高根沢町の給食費保護者負担額は、小学校が年間36,300円、中学校が48,400円。これに対し本市においては、小学校が48,620円、中学校が57,200円と大幅に負担額が高く、保護者から減額の要望が多く寄せられている。

そこで、給食費の保護者負担の軽減についてどのように取り組んでいくのか伺う。

さらに、さくら市内の公立学校に勤務する男性教諭がわいせつ未遂容疑で逮捕されたとの報道があったが、今後どのように対処していくのか。また教職員への指導を一層強化していく必要があると思うが、考えを伺う。

答弁を求める者 市長、教育長

1. さくら市の子どもたちを取り巻く今後の子育て環境は

- ① 市内民間保育園閉園に伴う市としての対応は。
- ② “駅前立地”という利便性から、それを失うことは市としても損失と考えるが、駅前の魅力向上、活性化を推進していく市長としての考えは。

答弁を求める者 市長

1. 「地域計画」について

- ① 現状の取り組み状況について
- ② さくら市農政との関わりについて

答弁を求める者 市長、農業委員会会長

2. 金龍橋一金枝橋間の道路改修について

- ① 現状の取り組みについて
- ② 今後の取り組みについて  
の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

3. 市制20周年記念への取り組みについて

- ① さくら市誕生20周年記念について
- ② 総合的にどのように展開するのか。
- ③ 記念事業として何を考えているのか。
- ④ 記念式典と招待者の範囲は。
- ⑤ 20周年記念後のさくら市市政をどう考えているのか（2期目の総括をふまえて）。

答弁を求める者 市長

### 1. DX化の推進について

本市においてもDX化が進んでおり、業務の負担軽減のためにも更なる推進が求められる。そこで本市の現状と今後について伺う。

- ① DX化の現状および課題は。業務軽減につながっているか。
- ② 今後の目標は。具体的な事業は。
- ③ 茨城県下妻市では、現在、職員の半数がプログラミング不要で業務アプリを開発できる「ノーコードツール」を活用して自分の業務を改善できる仕組みをとっている。そこで本市でも活用したらどうか。

答弁を求める者 市長、教育長

### 2. 地域の防犯体制強化について

昨今、首都圏において連続強盗事件が多発、また市内においても日中身元不明者が訪問してきて、不安だとの声も頂戴している。そこで、地域の防犯体制強化について伺う。

- ① 現在、市設置の防犯カメラの台数および運用状況は。
- ② 石破政権は、本年度補正予算、新年度予算において防犯体制強化のための予算を検討との報道がある。そこでこういった補助を利用し、行政区や商店街への防犯カメラ設置への補助を実施したらどうか。
- ③ 同様に青色回転パトロール車への補助を見込めることから、強化体制を図ったらどうか。

答弁を求める者 市長

### 3. 带状疱疹ワクチン接種について

本市においては、令和5年4月より带状疱疹ワクチン接種補助を開始した。そこで現状及び今後について伺う。

- ① 带状疱疹ワクチン接種の現状は。
- ② 带状疱疹ワクチン接種においては、厚労省より定期接種化の方針が示された。しかし、定期接種となると、B類疾病に位置づけられ、国から一定程度が交付税措置されるに過ぎない。

そこで、定期接種化後も現在の補助体制を維持すべきと考えるがどうか。

答弁を求める者 市長

1. さくら市第3次総合計画策定の取り組みについて

課題として認識された重点施策の設定等の対応を含め進捗状況は。

答弁を求める者 市長

2. 第2期さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みについて

第2期さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況は。

答弁を求める者 市長

3. 第3期さくら市子ども・子育て支援事業計画策定について

第3期さくら市子ども・子育て支援事業計画策定の現状、総括と今後のスケジュールは。

答弁を求める者 市長

4. 終活支援について

終活支援の取り組みの状況と新たな取り組みは。

答弁を求める者 市長